

公益社団法人日本地震学会平成25年度第7回理事会議事録

1. 日 時 平成26年3月19日(水) 15:00~18:10
2. 場 所 東京大学地震研究所2号館 別館 講義室
3. 理事数 15名
4. 出席者 理事11名, 監事2名, オブザーバー3名
 - ・理事: 加藤照之, 岡元太郎, 井出哲, 岡本義雄, 香川敬生*, 加藤尚之, 武田哲也, 田所敬一, 西澤あずさ, 堀川晴央, 松原 誠 (*テレビ会議による出席)
 - ・監事: 川崎一朗, 鈴木善和
 - ・オブザーバー: 若手学術奨励賞選考委員長, 論文賞選考委員長, 今西和俊
 - ・事務局: 中西のぶ江, 岡野美紀子

5. 審議事項

議長加藤照之は, 本日の理事会の理事出席者が11名であり定足数を満たしているため, 理事会が成立することを宣言した. スカイプを利用し, 東京大学地震研究所と鳥取大学とで同時に会議に参加できるようにし, 審議を確実に行うことができることを両者で確認した. 続いて, 以下の議案について, 逐次審議に入った.

第1号議案 2013年度学会賞に関する件

2013年度論文賞推薦候補論文について, 論文賞選考委員長より3編を受賞候補者とし, その選考理由について説明が行われた. また, 2013年度若手学術奨励賞推薦候補者について若手学術奨励賞選考委員長より受賞候補者3名の選考理由について説明が行われた. 審議の結果, 2013年度受賞対象を以下の通り決定した. また, 若手学術奨励賞選考委員会からの要望として, 選考委員の構成を引き続き分野に偏りがないようにすることや, より多くの優秀な学会員が被推薦者となるような工夫を考えてほしいとの要望があった.

○ 論文賞

- ・ Strain anomalies induced by the 2011 Tohoku Earthquake (M_w 9.0) as observed by a dense GPS network in northeastern Japan

著者: Ohzono, M., Y. Yabe, T. Iinuma, Y. Ohta, S. Miura, K. Tachibana, T. Sato, and T. Demachi

掲載誌: *Earth Planets Space*, 64, 1231-1238, 2012.

- ・ 東海地域下の三次元地震波減衰構造—微小地震スペクトルを用いた推定—

著者: 高岡 宏之, 津村 紀子, 高橋 福助, 野崎 謙治, 加藤 愛太郎, 飯高 隆, 岩崎 貴哉, 酒井 慎一, 平田 直, 生田 領野, 國友 孝洋, 吉田 康宏, 勝俣 啓,

山岡 耕春, 渡辺 俊樹, 山崎 文人, 大久保 慎人, 鈴木 貞臣
掲載誌：地震 第2輯, 第65巻, 第2号, 175-189, 2012.

・釧路沖の中規模繰り返し地震活動

著者：佐鯉 央教, 松山 輝雄, 平山 達也, 山崎 一郎, 山本 剛靖, 一柳 昌義, 高橋 浩晃
掲載誌：地震 第2輯, 第65巻, 第2号, 151-161, 2012.

○ 若手学術奨励賞

- ・ 内出崇彦

地震の初期破壊過程解析と破壊成長過程のスケーリング研究

- ・ 野田博之

地震発生機構に関する理論的研究

- ・ 行竹洋平

内陸地震の発生過程に関する研究

第2号議案 事務局職員給与について

議長より次年度の職員の俸給について俸給月額表に基づき説明が行われた。審議の結果、各職員の俸給月額について1号俸定期昇給することとした。

第3号議案 平成26年度収支予算案について

平成26年度収支予算案について加藤会計担当理事より説明が行われた。審議の結果、原案を一部修正のうえ、全会一致で承認した。

第4号議案 平成26年度事業計画案について

平成26年度事業計画案について議長より説明が行われた。審議の結果、原案を一部修正の上、全会一致で承認した。

第5号議案 平成26年度定時社員総会の開催について

2014年度定時社員総会について議長から説明が行われた。提案通り、4月30日(水)19:00からパシフィコ横浜411室にて開催することを全会一致で承認した。

第6号議案 公印管理規則および事務処理規定の改正について

事務局より、平成24年度監査において鈴木監事より指摘された公印の使用について、改めて登録印章(実印)を作成するにあたり、公印管理規則および事務処理規定の改正案について説明が行われた。審議の結果、原案通り両規則の改正を承認した。また、現在の会長印に磨滅が認められるため、登録印章と併せて会長印も新たに作成することが報告され

た。

第7号機案 地震学を社会に伝える連絡会議の設置について

議長より、「行動計画 2012」に基づき、理事会において引き続き議論されてきた「地震学を社会に伝える連絡会議」の設置について説明が行われた。連絡会議は、地震学の現状を社会に伝えると共に、社会からの地震学への要請を受け止めて学会にフィードバックすることを目的とし、地震学会ホームページ担当委員、地震予測・予知問題担当委員の担当委員の他、常置委員会等からの連絡委員および臨時委員から構成され、連絡会議の議長は副会長とすること、等の原案が示された。これに対し、川崎監事から学会活動に非常に重要な連絡会議において設立に深く関わった会長が担当するべきではないかとの意見が出された。これに対し、加藤会長が連絡会議の活動が軌道に乗るまではオブザーバーとして会議に参加するとの説明を行って了承された。審議の結果、連絡会議の設置が全会一致で承認された。また、連絡会議内に地震予測・予知問題担当委員を置くことにより、地震予知検討委員会の廃止も併せて承認された。なお、地震予知検討委員会の廃止および連絡会議の設置に伴い委員会規則別表を修正することが承認された。

第8号議案 表彰委員会の設置について

議長より、「行動計画 2012」に基づき、理事会において引き続き議論されてきた表彰委員会の設置について説明が行われた。審議の結果、表彰委員会は日本地震学会に関連する表彰・推薦に関する事業を行い、表彰・推薦についての実務的な業務のほか、地震学会の表彰・顕彰のあり方についても検討を行うこととし、その設置を承認した。今後は推薦事業について、年間の学会への推薦依頼を把握することとし、構成員についても今後検討することとした。また、海外渡航旅費助成金審査委員会を表彰委員会に含めてはどうかとの意見が出され、引き続き検討していくこととした。なお、表彰委員会の設置に伴い委員会規則別表に追記することが承認された。

第9号議案 倫理委員会の委員について

議長より来年度の倫理委員会の委員委嘱について4名の委員候補者が提示され、原案通り承認された。委員の委嘱にあたっては委員候補者に確認の上、委嘱手続きすることとした。

第10号議案 「意思の表明」に関する規則について

議長より、「行動計画 2012」に基づき、理事会において引き続き議論されてきた「意思の表明」に関する規則について説明が行われた。「意思の表明」はその種類を、会長声明、理事会声明、学会決議または学会要望とし、それぞれの周知の方法および発議・決定方法について規則に定める、等の説明があった。審議の結果、原案を一部修正の上、全会一致で

承認した。

第11号議案 リモートセンシング TF への日本地震学会からの代表派遣について

議長より、リモートセンシング TF への日本地震学会からの代表派遣について、前任者が退会したことによる後任の選任について提案が行われた。審議の結果、提案通り、青木陽介会員を学会代表として派遣することとし、その活動は災害調査委員会に所属の上、行うこととした。

第12号議案 後援依頼について

以下1件の資料が回覧され、後援名義の使用を許可した。

後援：科学教育研究協議会 第61回全国研究大会・東京大会

第13号議案 入会申請者の承認について

議長から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、正会員に申し込みのあった6名（内学生2名）の入会を承認した。

6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 正会員21名、賛助会員1社の退会届が提出された。
2. 西澤男女共同参画推進担当理事から日本地球惑星科学連合男女共同参画委員会の活動報告が行われた。男女共同参画学協会連絡会からの国や日本学術会議に対する要望書提出の趣意書が紹介され、連合理事会において承認されたことや、要望書の今後の提出予定等が説明された。また、連合大会期間中のパブリックセッションの開催や保育ルームの案内について等が紹介された。
3. 事務局より、関口地震編集理事からの報告として、3月19日現在までの「地震」の編集状況について報告が行われた。66巻4号を3月下旬に、67巻1号については、現在のところ3編を受理し6月末刊行予定であることが報告された。
4. 松原広報担当理事より連合大会期間中の記者懇談会は4月28日の19時30分から開催し、講演者は井出哲会員に依頼したことが報告された。
5. 田所災害調査担当理事より「東日本大震災合同調査報告 共通編1 地震・地震動」の刊行および、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会の活動に関する報告が

行われた。

6. 岡本学校教育担当理事より平成 26 年度の免許状更新講習の開設について文部科学省からの承認が得られたことと、講習の案内を学会ホームページに掲載したことが報告された。
7. 堀川欧文誌運営担当理事より、EPS の出版状況について報告が行われた。
8. 平成 25 年事業報告案について、3 月末日までには各理事が担当する関連事業について報告を行うよう周知した。
9. 議長より日本ジオパーク委員会委員推薦について説明が行われた。日本地震学会からの委員は 2 名であるが、日本ジオパーク委員会委員長の尾池和夫氏が日本地震学会の名誉会員であることから、1 名の推薦依頼があったこと、委員は再任を妨げない等の説明があり、日本地震学会ジオパーク支援ワーキンググループからの推薦により、引き続き中川和之会員を委員推薦することが報告された。

7. その他（意見交換）

以下の 3 件の意見交換があった。

1. 議長より第 11 回日本学術振興会賞の推薦について説明が行われた。意見交換の結果、学会員に広く公募を行うほか、推薦資格に該当する過去の若手学術奨励賞受賞者へ学会推薦を受けるかどうか問い合わせることとし、順次推薦手続きを行うこととした。
2. 議長より平成 26 年度の外部監事の委任契約について、引き続き鈴木監事に依頼したいとの意見が出され、全会一致で引き続き鈴木監事に外部監事の依頼を行うことが了解された。
3. 議長より ASC への開催援助について、ASC 組織委員会からの支援依頼文書の説明が行われた。意見交換の結果、過去の支援状況や、ASC 基金の残額等を勘案し、開催支援については承諾することとした。承諾にあたり ASC 基金運用に関する規定にのっとり、日本地震学会を共催団体とするよう回答することとし、支援金額等については引き続き検討することとした。